

## 【本井晴信氏収集文書 解題】

- ・ 本道村文書 1461
  - ・ 下百々村文書 1462
  - ・ 中島村文書 1463
  - ・ 宮口村文書 1464
  - ・ 上広田村文書 1466
  - ・ 小谷島村文書 1467
  - ・ 手島村文書 1468
  - ・ 角取村文書 1469
  - ・ 吉野村文書 1470
  - ・ 中小町商家文書 1478
  - ・ 本井晴信氏収集諸家文書 1485
- ※数字は資料群番号

元新潟県立文書館副館長の本井晴信氏が収集した文書群である。本井氏は、文書の散逸を危惧し、古書店等に流出していた旧越後国頸城郡関連の文書を自費で購入していた。そのため、各文書の旧蔵者や伝来等の詳細は不明である。

### 〔本道村文書 資料群番号 1461〕

上越市大字本道（旧津有郷本道村）に関連する近世末を中心とした 540 点余りの文書群である。近世には庄屋、明治以降は戸長を務めた家に伝来した文書群と推測され、村政全般に関わる文書が多数を占めている。

とくに中江用水関連の普請人足、割賦金、組合費等を記した証書類・帳面等が数多く含まれる。幕末に本道村は、戸野目村・上野田村・桐原村・虫川村・荒屋村等と共に、中江用水の分水新江筋開削を度々願い出ており、その嘆願に関する文書もみられる。中江用水研究で、これまで本文書群が利用されたことは無かったが、新たな研究対象となることが期待できる。

また、本道村内には、戸野目村保坂家等の村外地主の懸持地が広くあり、嘉永 5 年（1852）「小物成夫金大豆代覚帳」〔4 冊 1 組、資料番号 1461-172-1〕等の資料は、幕末期の地主・小作関係を探ることができる。